

■ Siemens、マスターデータ管理でコストを抑制しデータエラーを98%削減

企業名:

Siemens Building Technologies (SBT)

業種:

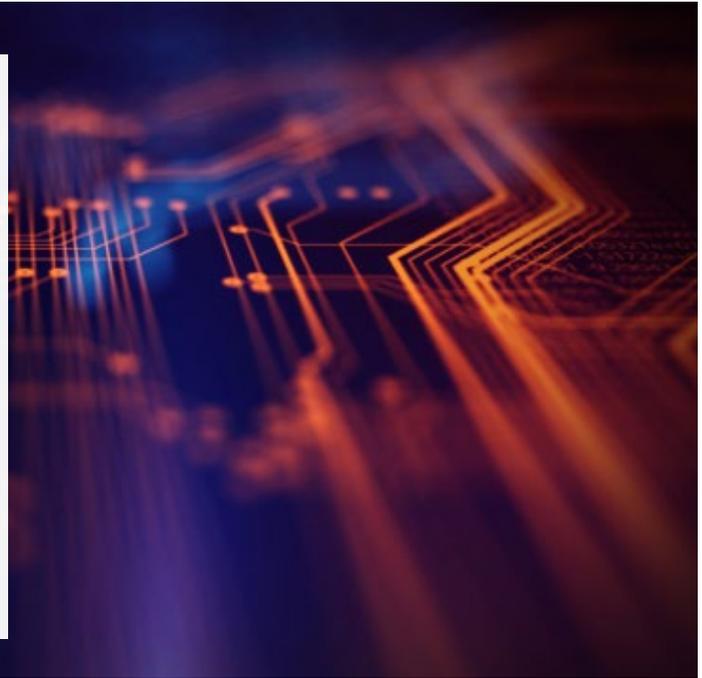
製造

地域:

欧州

ソリューション:

商品MDM



概要

SBTは、複数の異なる企業が数回の買収を経て誕生した企業です。そのため個々の部門は、同一製品のデータを並行して保持していました。このようなサイロ化した管理は、データの効率的な再利用を妨げ、同じ製品でも市場での見せ方が異なるため、SBTは統一感のあるブランドイメージを実現できていませんでした。

一元的なマスターデータ管理機能を新たに採用することになったのは、一貫性のある社外コミュニケーションと共通の営業活動の推進を意味する、同社のモットーである「One SBT」が発端でした。

そこで、共通化への大きな一歩となるプロジェクトが立ち上げられました。その目的は、全チャンネルと地域にわたって、自社と自社商品の表現に統一感を持たせるとともに、データ保守の時間と経費を削減することでした。

地域ごとに管理されている約2万5,000点の商品の詳細と、3万点の追加資産（製品のデータシートやグラフィックなど）が、中央システムである、Stibo Systemsの商品MDMへ転送されたのです。

事業における効果

データの一元管理によって、保守費用、スタッフの所要時間、ミスが大幅に削減されました。チャンネルと地域間の一貫性を高めることで、データエラーが98%減少しました。

市場投入までの所要期間が平均80%短縮され、顧客は強力で統一感のあるブランドを体験できるようになりました。

課題

SBTが目指したのは、以下を実現する新たなデータ管理プロセスの構築でした。

- データ保守の時間とコストの削減
- 全チャネルと地域にわたる一貫性の向上
- データエラーと非効率性の改善
- 市場投入に要する期間の短縮

ソリューション

上記の目標をサポートするために、SBTはStibo Systemsのマスターデータ管理プラットフォームである商品MDMを選択しました。

商品MDMは、サプライチェーンのバックエンドアプリケーションと全社の顧客向けアプリケーションのデータをシームレスに統合します。そうすることで、コールセンター、販売チャネル、ウェブサイト、印刷媒体、あるいはその他の営業接点のどこで使用される情報であっても、形式、言語、通貨単位、物理的な位置に関わらず、全商品の詳細と関連する企業データを単一のデジタルハブで一元的に管理することが可能になります。

成果

SBTの社は現在、グローバルに展開する全商品のデータを、英語とドイツ語で商品MDMに入力しています。その他の地域は、それらのデータへアクセスし、それぞれが地域ごとに使用できるように、商品データを追加することができます。

一元化された情報源という原則を適用することで、SBT内の保守コストは大幅に削減され、データエラーの98%が排除されました。

「現在、データとレイアウトの保守を担当する従業員は25人ですが、以前はその何倍も必要でした。」

—Siemens Building Technologies、ロールアウトマネージャー兼CIO、パトリック・ブルナー氏

SIEMENS

Stibo Systemsについて

Stibo Systemsは信頼できるMDMを提供する、マスターデータマネジメント会社です。世界中の先進的な企業がマスターデータの戦略的価値を最大限に活用し、顧客体験の向上・イノベーションと成長の促進・デジタルトランスフォーメーションの推進を行うための基盤構築に不可欠な原動力となっています。当社は、企業が必要とする「透明性」、すなわち一元化された正確なマスターデータを提供することで、十分な情報に基づいた意思決定と、あらゆるビジネス上の目標達成をお手伝いします。Stibo Systemsは、1794年に設立されたStibo A/Sグループの非公開会社で、デンマークのオーフスに本社を置いています。詳細については <https://www.stibosystems.com/ja/> をご覧ください。